

報道関係者各位

株式会社BCN

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-12-5 内山ビル2F  
TEL:03-3254-7801 FAX:03-3254-7808 <http://bcnranking.jp/>

本件に関するお問い合わせは下記をお願いします。  
BCNアナリスト 道越 一郎  
michikoshi@bcn.co.jp

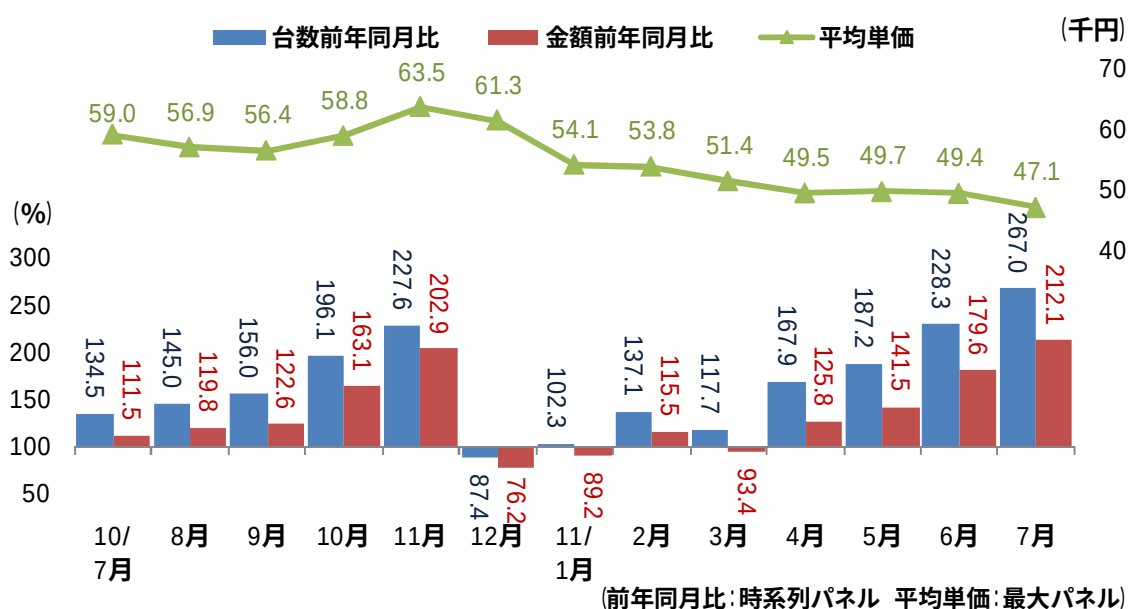
## レコーダー、地デジ化の駆け込みで7月に過去最大の伸び率 ——地デジ化後でも、関連製品は売上は前年比増を維持

地デジ化の夏を終えたテレビ関連市場。7月、最も駆け込み購入が顕著だったのはレコーダーだった。昨年11月にはテレビの盛り上がり連動してレコーダーの販売も伸びたが、7月はこれを大きく上回った。販売台数前年同月比は267.0%と過去最大の伸びを記録。一方、地デジ化直後の7月最終週（25-31日）では、駆け込みの勢いこそなくなったものの、テレビ、レコーダー、地デジチューナーとも昨年を上回る販売水準を維持している。全国主要家電量販店の実売データを集計する「BCNランキング」で明らかになった。

### ●駆け込み購入は最終盤で一気に拡大

レコーダーの地デジ化は、テレビよりわかりにくい上、エコポイントの対象ではなかったこともあって出遅れていた。しかし7月24日のアナログ停波が近づくにつれ、急激に潜在需要が顕在化。6、7月で駆け込み購入が広がった。特に7月は、販売台数の前年同月比では267.0%、金額でも212.1%とBCNが集計を開始（2004年10月）して以来最大の伸びを記録した。地デジ化特需にともなって最も売れた2010年11月の水準に比べても、販売台数で145.8%、販売金額でも108.1%と大きく売上を伸ばした。

図1 <レコーダーの台数金額前年同月比と平均単価>



## ●テレビは、2010年11月に次ぐ駆け込み

一方、テレビも6月、7月と駆け込み購入が増加、7月の販売台数前年比は227.4%と6月の249.3%に及ばなかったものの、販売台数は、2010年11月に次ぐ2番目の水準に達した。サイズ別で見ると、6-7月で大きく伸びたのが20型未満の小型サイズ。7月は535.3%と前年同月比で5倍以上の売れ行きを示した。地デジ化に伴い、サブテレビを購入する動きが加速していたことに加え、デジタルテレビをとにかく安く手に入れようとする動きも重なって、販売が一気に拡大したものと見られる。一方平均単価は、品薄の影響で30型・20型台の価格が若干上昇に転じたものの、2010年11月のように、全体の平均単価を押し上げるまでには至らなかった。

図2 <薄型テレビ全体の台数金額前年同月比と平均単価>

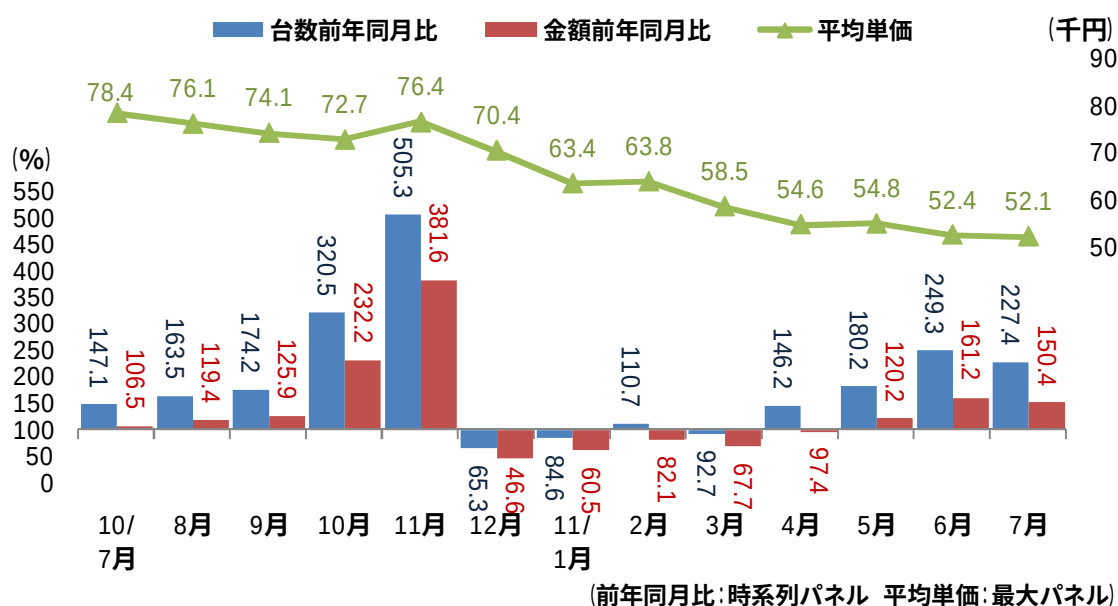
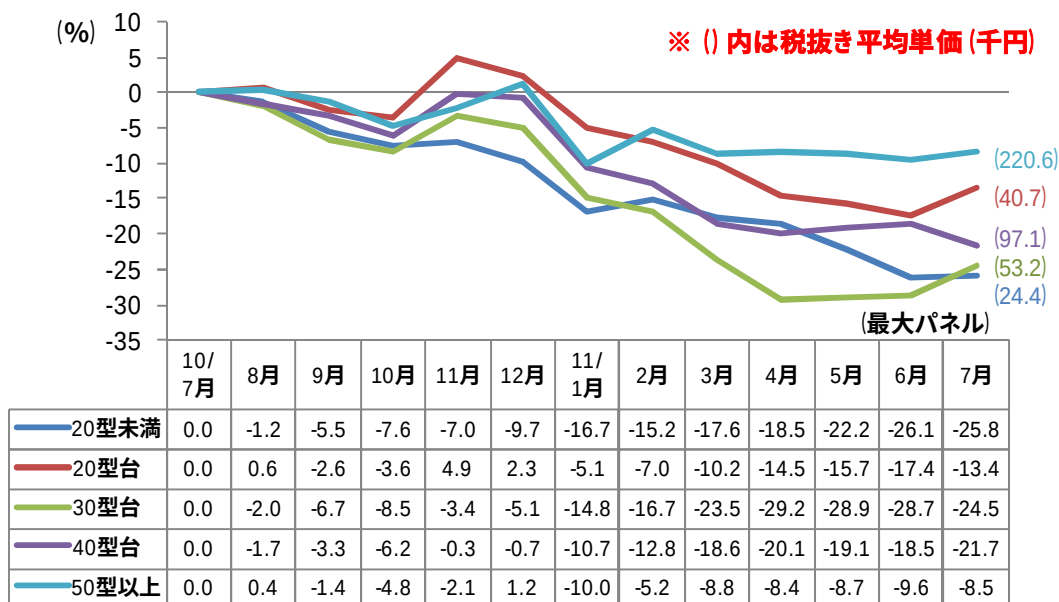


図3 <薄型テレビの平均単価変動率>



## ●地デジ化後も販売は堅調、2011年のテレビ販売台数は昨年比10-20%減

アナログ停波の翌週（7月25-31日）の販売状況は、台数前年同週比でテレビが108.5%、レコーダーが156.0%、地デジチューナーが399.7%といずれも前年を上回る水準を記録。販売台数自体は前週の半分程度に減少し、駆け込み購入の動きはすっかり落ち着いたものの堅調を維持している。こうした状況から、これまでのところ2011年は、震災など影響はあったものの、全体としてはデジタル化の需要は非常に旺盛だったと見ていいだろう。これから販売規模が縮小に向かうことになるテレビだが、2011年の販売台数見通しは、前年比で10-20%減程度で収まりそうだ。一方、価格下落や小型化の影響で販売金額では同30-40%減になる見通しだ。

BCNでは全国の量販店23社（アベルネット、アマゾンジャパン、エディオン、NTTレゾナント、大塚商会、グッドウィル、ケーズホールディングス、サードウェーブ、サンキュー、上新電機、スタート、ストリーム、ソフマップ、ZOA、ナニワ商会、ビックカメラ、ピーシーデポコーポレーション、ベスト電器、三星カメラ、ムラウチドットコム、MOA、ユニットコム、ラオックス＝50音順・2011年7月1日現在）のPOSデータを日次で集計したBCNランキングを公表しています。

※集計対象の社数は、当社と販売店との間でデータ提供契約を締結している法人数をカウントしています。